



# 動物レスキュー通信

2019年4月 第71号 (平成31年4月1日発行)

発行元  
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財團

詩月(しづく)：詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
ペット災害危機管理士 三級  
お問い合わせ : [sizuku.foundation@gmail.com](mailto:sizuku.foundation@gmail.com)

「ちゃん」として鼻は生きて行く上でとても大切な感覚器です。もちろん鼻以外のどの感覚器も大切なものです。が、鼻は赤ちゃんが安全に暮らす為に重要な感覚器なのです。なぜなら、ネコちゃんの鼻は臭いを感じるだけのものではないという事です。どのような役割があるのかといつと①食べ物の温度を測る事が出来る。②食べ物の安全性を確認する事が出来る。③様々な情報を読み取る事が出来る。④フロントを嗅ぎ分ける事が出来る。大きく分けてこの4つの事が可能です。その為人間よりもはるかに小さい鼻なのに、も関わらず、嗅細胞の数や嗅上皮の面積は人間の約5倍もあると言われています。更に高感度な温度センサーの役割も果たしており、左右の気化熱の差から風向きを感じてきます。うちの愛猫にもよく見られる行動ですが、飼い主さんが帰宅した時などに、すり寄ってきて「ンンン」と臭いを嗅がれる事がよくあります。それは③の様々な情報を読み取る行動のあらわれです。本当に飼い主さんなのか?外で自分以外の猫と洋気していない

前回はネコちゃんの目と耳についてお話をしました。聴覚、視野の広さ、動体視力は人間よりも優れていますが、視力はあまり良くない事を知つて頂けたと思います。今日は顔の中の残りの部分である鼻、舌、ひげについてお話ししようと思います。

ネ」ちゃんの舌

か?など、チェックされます。こうやって臭いを嗅ぐ事で締張りを判断したり、尿の臭いから相手の情報を読み取る事も出来てしまいますが、ネ「ちゃんが」口を開きにしてボクンとした表情をしている時があります。「これは「フレーメン反応」というもので、臭いに反して口蓋の奥にあるやフソン器官で性フエロモンを受け取りやすくし、たくさんの刺激を取り入れようとする生理現象です。なので、ネ「ちゃんが」じつは、どこかでフエロモンの香りがするのだと思います。



ネコちゃんのヒゲ

はできません。苦味や酸味を感じる事は可能です。ちなみに熱いものが苦手な人の事を「猫舌」と言いますが、そもそも野生の動物は体温以上の熱いものを口にする習慣はありません。ネコちゃんに限らず、他の動物も人間のように熱いものを口にすることはありませんね。

人間にとつてヒゲは個性を表すもの程度にしか思われていないかもしませんが、ネコちゃんにとってはとても大切な感覚器です。その根元(毛根)には神経が集中しておりとても敏感です。その為、ヒゲの先端が触れるだけで物の存在や距離などを瞬時に測る事が出来ます。狭い所に入ろうとする時などは、このヒゲの当たり具合によって通れるのか通れないのかを判断しているのです。それだけではなく温度の変化や風向きまでも知る事が出来ます。暗い所でもすいすいと歩く事が出来るのは、目のおかげだけではなくヒゲが空気の流れを感じとつて障害物の存在などを把握できているからです。ヒゲの敏感さは生まれ持っているもので、生まれてすぐまで目が開いていない時でも母ネコのおっぱいを上手に探す事が出来るのは、このヒゲのおかげなのです。又、ヒゲはとても感情豊かで嬉しい時にはヒフと立っています。反対に退屈なときやリラックスしている時、眠い時にはダラリと垂れ下がっています。周囲を警戒している時には顔いっぱいにヒゲを広げ、恐怖を感じている時には顔にピタリとくっつけています。全弓と今弓でネコちゃんの目、耳、鼻、舌、ヒゲについて知って頂けました。ネコちゃんの身体について少し知るだけでも飼い主さんとネコちゃんの関係が良くなり、お互いの幸せに繋がると信じております。(詩月)